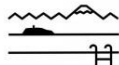


海の  
ほとり  
美術館



Press Release

2022年5月13日  
海のほとり美術館実行委員会  
逗子アートフェスティバル実行委員会

2018年より続く連作「ぼくたちのうたがきこえますか」最後の作品

## 5月「海のほとり美術館」子どもから大人まで楽しめるイベント開催

～逗子アートフェスティバル 2022 プレ企画～

「海のほとり美術館」は、アーティスト松澤有子が2018年からスタートし、これまでに延べ約3,000人のボランティアと共同で制作を続けてきたアート作品「ぼくたちのうたがきこえますか」の集大成となる大型インスタレーション作品です。会場である25mプールに、ペットボトルのキャップなど捨てられるプラスチックを原料に作り替えられた大型作品が姿を現します。相模湾越しに富士山が望め、夏には逗子市民の憩いの場となる市民プールが、期間中のみ非日常の空間となります。ふとした日常に現れる巨大なアート作品は、鑑賞者にとって忘れられない体験をもたらすことでしょう。

期間中は、大人から子どもまで楽しめるようなイベントを開催します。作品が展示される会場で行われるダンスパフォーマンスやライブ、子供向けのワークショップなど、ぜひ作品鑑賞と共にお誘いあわせの上ご参加ください。



展示会場イメージ図



## 【期間中に実施されるイベント一覧（予定）】

### 《オープニングパフォーマンス》

日時：5月21日（土）、22日（日）19：00 開演 ※雨天中止

料金：1,500 円、中学生以下 500 円

2018 年より「ぼくたちのうたがきこえますか」シリーズで数々のステージを作ってきたダンサー Chii 演出のスペシャルパフォーマンス。ダンサーや演奏者と共に、松澤有子の作品世界を表現します。

※事前申込制、詳細は HP をご覧ください。

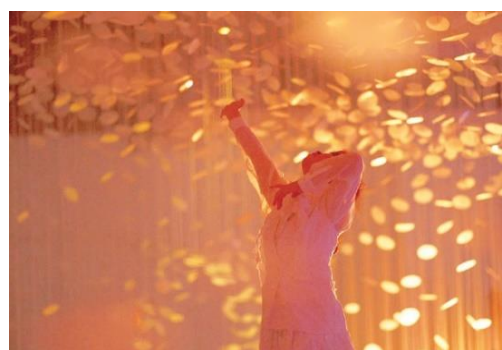


#### 【プロフィール】

Chii

逗子市在住。宇多田ヒカル、浜崎あゆみ、倅田来未など多数アーティストの舞台・ミュージカル・ライブ・コンサートなどに出演、振付。アーティストのプライベートレッスンも受け持つ。

2012 年初の単独自主公演 Synchronicity vol.1「Weave」を旗揚げ、多くの称賛を得る。



2019 年公演の様子

### 《長島 源ミニライブ》

日時：5月27日（金）18：48 日没～30 分程度 ※雨天中止

料金：1,000 円、中学生以下無料

2019 年の感動を再び。作品と長島源の歌声・ギター音が共鳴する、幻想的な音楽ライブ。

※事前申込制、詳細は HP をご覧ください。

#### 【プロフィール】

長島源

1978 年神奈川県逗子市生まれ。ミュージシャン、モデル、「CINEMA AMIGO」館長。

2009 年、仲間と BASE LLC. を設立、カルチャー発信型映画館「CINEMA AMIGO」を立ち上げる。同社共同代表の志津野 雷が主催する CINEMA CARAVAN のメンバーであり、逗子海岸映画祭では実行委員長を務める。



海の  
ほとり  
美術館



Press Release

## 《アート空間にひたる YOGA》

日時：5月27日（金）10：00～11：00 ※雨天時6月3日に延期  
料金：2,500円

インストラクターに三石祐子さんを迎え、作品会場で行う朝ヨガ。  
ヨガをしながらアートを味わう特別な時間を過ごしませんか？  
※事前申込制、詳細はHPをご覧ください。



## 《キッズデー》

日時：5月29日（日）10：00～15：00 ※雨天時6月5日（日）に延期  
子どもたちが楽しめる各種ワークショップを開催。また、20年にわたり、老若男女  
問わず愛される童謡「にじ」の作者、中川ひろたか氏も登場。

※申込、料金等の詳細はHPをご覧ください。

### 《ワークショップ例》

- ・マイクロプラスチックでイニシャルキーホルダーをつくろう！
- ・漂着プラスチックでつくる、海のほとり美術館オリジナルグッズ（norio はんこ協力）
- ・ワクワク顔はめパネル 等



### 【プロフィール】

中川ひろたか

1954年埼玉県生まれ。

シンガーソングライター

5年間の保育園勤務後、1987年みんなのバンド「トラヤ帽子店」を結成。1995年に「さつまのおいも」（童心社）で絵本デビュー。

歌に「世界中のこどもたちが」「みんなともだち」「にじ」があるほか、絵本に「ないた」（日本絵本賞大賞・金の星社）、など多数。

## 《みちくさ MAP とあるく裏小坪》

日時：6月4日（土）10：00～13：00 ※雨天時6月5日に延期  
料金：2,500円（高校生以上対象）

逗子市小坪エリアの「小坪みちくさ Map」作家 eriさんと歩く、ディープな  
小坪さんぽ。小坪漁港の漁師さんも登場！  
小坪の出張料理シェフ ilideliさんのお弁当付き。  
※事前申込制、詳細はHPをご覧ください。







## 【ぼくたちのうたがきこえますか 2022 海のほとり美術館 とは】

「ぼくたちのうたがきこえますか」は、2018 年、逗子市と市民による年 1 回のアートフェスティバル「逗子アートフェスティバル」(以下、ZAF) の参加作品として発表されました。その後も 2019 年、2020 年と発表を続け、今年の 5 月に「海のほとり美術館」と題し、最後の締めくくりとして展示されます。

### ・ 25m プールに設置される大型インスタレーション作品

逗子の市民にとって、子どもの頃から通い、夏の思い出となっている海のほとりにある市営プール。このプールを舞台に、25m プールの中に巨大なインスタレーションを展示します。鑑賞者はプールのヘリから作品を眺めたり、あるいはビニールボートに乗って水面を漂いながら鑑賞をすることができます。

### ・ 延べ約 3,000 人 市民中心のボランティアと共に作る作品

2018 年の最初の作品から、制作はボランティアと共に行われ、2022 年までに延べ約 3,000 人もの方々にご参加いただきました。神奈川県内各所・都内など市外からも、親子連れ・高校生・大学生・ご高齢の方など、世代を問わず多くの方々にご参加いただいています。また、小坪港のかんす丸や正旗丸、竹林の整備・管理をする三浦竹友の会など、地域に根差した活動をするプロフェッショナルのご協力も得ながら作品制作を行なっています。

### ・ 作品を通して、海と私たちの生活のサステナビリティ (持続可能性) に目を向ける

作品の素材には、主にプラスチックが使用されています。逗子の海岸で拾われた海洋プラスチックや、逗子市立小学校、制作ボランティアから集められたペットボトルのキャップ、廃棄予定のクリアファイルなどです。いま、海洋プラスチックを含むプラスチックが環境問題のひとつとして注目を集めています。制作サポートや、作品の鑑賞を通じて、一人ひとりがプラスチックや生活との関係について一歩立ち止まって考えるきっかけになることでしょう。展示終了後、作品の一部は、家具素材にするなどの再活用をしています。





### アーティストプロフィール：松澤 有子（まつざわ ゆうこ）

1975年神奈川県逗子市生まれ、逗子市在住。2007年シドニー大学大学院美術学部卒業。オーストラリアでアーティストとしてのキャリアをスタートし、9年間の活動を経て日本に帰国。日本での主な展示は「大地の芸術祭（2009）」「黄金町バザール（2011）」「静岡市美術館（2014）」など。2児の母。

<https://www.yukomatsuzawa.info/>

私の作品は視覚的な詩です。

制作は、その空間、そこに存在する時間や記憶に寄り添うことから始まります。

自然の一部としての人間、自らが自然的存在であることに身を投じたときに立ちあらわれる個の不完全性、不確実性、私は、あなたでもあり、時間でも森の落ち葉の存在でもある。そういう境界線のあいまいさに実に興味があります。また、万物は流転します。その中で私の作品は、流れゆくあいまいな境界線のその先をさらに紡いでゆこうとする過程の積極的な残像です。

#### 【開催概要】

期間：2022年（令和4年）5月22日（日）～6月5日（日）

平日 11：00～16：00 / 土日 10：00～16：30

※5月21日オープニングイベントあり（有料・予約制）

場所：小坪飯島公園プール（神奈川県逗子市小坪5-24-9）

観覧料：500円（中学生以下無料）※小学生以下は保護者同伴（保護者1人に小学生以下3人まで）

主催：海のほとり美術館実行委員会、逗子アートフェスティバル実行委員会

共催：逗子市、逗子市教育委員会

企画運営：逗子アートネットワーク（アーティスト 松澤有子、企画 長峰宏治）

協賛：（順不同）菊池地所株式会社、CAMWACCA

協力：（順不同）公益財団法人逗子市スポーツ協会 / 株式会社ワコーインターナショナル神奈川支店 / 株式会社ビエラリゾート / 株式会社エレファントストーン / 逗子ドローンクラブ / 三浦竹友の会 / 小坪港かんす丸・正旗丸

HP：<https://bokuuta2022.localinfo.jp>

※予約方法などの詳細・最新情報は、HPをご覧ください。

※逗子市の指導の下、新型コロナウイルス対策を講じて安全を第一に実施いたします。

※社会情勢の変化、やむを得ない事情により予告なく中止になる可能性があります。予めご了承ください。

#### 【問い合わせ先】

海のほとり美術館実行委員会 プレス担当・児玉 [bokuuta2022@gmail.com](mailto:bokuuta2022@gmail.com)